

研究結果報告書

神社神道における神葬祭の位置

所属 北スマトラ大学

役職 専任講師

氏名 Alimansyar

研究結果

神社神道における神葬祭の位置

本研究の目的は、神社神道における神葬祭の位置を明らかにすることである。データは、これまで神社の中で参与観察、インタビュー、日本全国神社庁が発行した神葬祭の手引書、と神葬祭を奉仕する神職や神社本庁の研究部長への聞き取り調査によって収集した。

神社本庁が発行した『神社祭祀関係規程』には、神社祭祀は「大祭（第二条）」、「中祭（第三条）」、「小祭（第四条）」を三つに分類されているが、神葬祭はこれらには入っていない。宮城県岩沼市の竹駒神社の神職によれば、神社では神葬祭を「外祭」として行なっているという。外祭とは、個人や企業の要望により、神職が現地に出張して行なう祭りである。要するに、神葬祭は神社の中で行なうのではなく、希望者の連絡があり次第行なわれるのである。

神葬祭の各式の式次第を見ると、神社で行なわれる祭儀の手順と同じであることがわかる。つまり、神社祭祀の祭儀は修祓からはじまり、斎主一拝→献饌→祝詞奏上→玉串拝礼（斎主、参拝者→徹饌→斎主一拝→退出で終了する。下記に一般祭儀と神葬祭（葬場祭）の式次第をまとめる。

表 1. 一般祭儀と神葬祭（葬場祭）の式次第

一般祭儀	神葬祭（葬場祭）
斎主以下祭員が着席	斎主以下神職が着席
修祓	修祓
斎主一拝	斎主一拝
献饌	献饌
祝詞奏上	祭詞奏上
舞を奏上	弔辞奏呈
斎主玉串奉奠	玉串奉奠拝礼（斎主、喪主、貴族、親族）
参列者代表玉串奉奠	喪主挨拶
—	参列者拝礼（榊、菊花、お洗米など）
徹饌	徹饌
斎主一拝	斎主一拝
斎員が守札授与	—
退出	退出

表 1 では、一見同じ流れのように見えるが、下記の表 2 にまとめたように、目的などが異なるということが分かる。

表 2. 一般祭儀と神葬祭の相違点

項目	一般祭儀	神葬祭（葬場祭）
場所	神社	葬祭会館、自宅
祈願	祝詞（神に向ける）	祭詞（故人の御霊に向ける）
拍手	音を立てる	音を立てない（忍び手）
神饌の手向ける先	神	故人の御霊
玉串の手向ける先	神	故人の御霊
祭の目的	神徳を得るため	霊を浄化するため

神葬祭は神職によって行われ、神社祭祀の手順に従って行っているものの、神社祭祀に含まれていないのは、外国人にとっては理解し難いことである。これは、神道の矛盾の一つである。この問題を解決するためには神社本庁で調査を行い、研究を続ける必要があると考える。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表（題名・発表者名・会議名・日時・場所等）

題名：The Significance Funeral Ceremony in Jinja Shinto
- Perspective form the Case of Takekoma Shrine-

発表者名：Alimansyar, Ph.D

会議名：The 1st Indonesia-Japan Scientific Forum on “International Symposium & Workshop on Japanese Studies”

日時：2018年9月14 - 15日

場所：Universitas Airlangga, Indonesia

論文（題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等）

題名：The Position of Shinto Funeral in Jinja Shinto

発表者名：Alimansyar, Ph.D

論文掲載誌：TALENTA Publisher

掲載時期：2019年9月

書籍（題名・著者名・出版社・発行時期等）

題名：Mengenal Jinja 2 -Ritual dan Festival

著者名：Alimansyar, Ph.D

出版社：USUpres

発行時期：2019年12月